



I. はじめに（概要、教育理念、特色等）

徳島大学神経内科は四国の大学病院では初めて神経内科を標榜した診療科として 1) 神経生理（末梢神経、中枢神経、筋）、2) 神経変性、3) 認知症、4) 脳卒中、5) 神経免疫・感染症の臨床神経学の主たる 5 部門にて診療、教育、研究を行っています。日常で遭遇する一般的な症状・疾患（頭痛、しびれ、認知症、脳卒中など）から神経難病に至る幅広い領域を相手に「治る神経内科」を目指すというのが私たちのポリシーです。

II. 専門研修プログラム

①各専門研修コースの概要、取得できる専門医

A コース（研究重視）

入局後年数	卒後年数	身 分	研修内容	資 格 等
1～3	3～5	大学病院医員あるいは 関連病院医員	病棟研修	
4	6	大学病院医員 大学院1年次	臨床研修	内科専門医
5～7	7～9	大学病院医員等 大学院2～4年次	基礎研究 臨床研究	神経内科専門医 関連学会専門医 学位（甲）

Bコース（臨床重視）

入局後年数	卒後年数	身 分	研修内容	資 格 等
1～3	3～5	大学病院医員あるいは 関連病院医員	病棟研修	
4～5	6～7	大学病院医員	臨床研修	内科専門医 神経内科専門医
6～	8～	関連病院医員	臨床研究	関連学会専門医 学位（乙）

各コースの特色

新内科専門研修が始まり、研修コースが多様化しています。ここで挙げたものは、当科でお勧めするモデルコースです。両コースともに入局後1年間は原則的に大学病院で臨床神経学の研鑽を積むことをお勧めします。Aコースは、大学院で行う基礎研究とのリンクを目指した神経内科医、Bコースは臨床のプロフェッショナルを目指す神経内科医の育成をそれぞれ主眼としています。学位は臨床重視コースでも、臨床研究（疫学、画像診断学など）に基づき取得が可能です。いずれのコースで育成された医師も徳島大学神経内科にとって重要な人材であり、臨床と研究の均整の取れた神経内科医局を目標としています。

②大学病院での専門研修スケジュール

曜日	午 前	午 後
月	脳卒中カンファレンス（脳神経外科と合同）	回診、症例検討会 整形外科合同カンファレンス（月1回） 精神科合同カンファレンス（月1回）
火	ジャーナルクラブ（英語でのプレゼンテーション）	
水	神経放射線カンファレンス	CPC・ブレインカッティング（不定期）
木	脳卒中カンファレンス（脳神経外科と合同）	リサーチカンファレンス
金		症例検討会

③研究・大学院

研究重視の者は、卒後3～6年目に大学院にてそれぞれの研究テーマについての研究を行います。研究内容は各々の興味により、じっくり相談して決定しています。他大学や学内の先端酵素学研究所などとのコラボレーションも行っています。

④研修関連病院一覧（学会認定の有無）

日本神経学会認定教育施設	徳島大学病院 独立行政法人国立病院機構 徳島病院 徳島県立中央病院 中村記念病院（札幌市） 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院（千葉県鴨川市） 医仁会 武田病院（京都市） 関西電力病院（大阪市） 財団法人田附興風会 北野病院（大阪市） 一般財団法人 住友病院（大阪市） 神戸市立医療センター 中央市民病院（神戸市） 兵庫県立姫路循環器病センター（姫路市） 日本赤十字社 和歌山医療センター（和歌山市） 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院（岡山県倉敷市） ビハーラ花の里病院（広島県三次市）
--------------	--

日本神経学会認定准教育施設	徳島赤十字病院 医療法人いちえ会 伊月病院 神鋼記念病院（神戸市）
---------------	---

⑤国内外への臨床・研究留学

臨床・研究内容により、国内外の施設へ留学しています。

現在、医局員が留学している施設、これまで留学したことのある施設

- The Feinstein Institute for Medical Research (New York)
- Beth Israel Deaconess Medical Center (Boston, Massachusetts)
- University Hospital of Heidelberg (Heidelberg, Germany)
- University of Toronto (Toronto, Canada)

医学生をサマースチューデントとして紹介したことのある施設

- The University of Texas Medical School at Houston (Houston, Texas)

Ⅲ. 教育指導体制

①指導医スタッフ一覧表（氏名、役職、専門領域、資格ほか）

氏名	役職	専門領域	資格ほか
和泉 唯信	教授、科長	臨床神経学、特に神経変性疾患、認知症	神経内科専門医・指導医、 認知症学会専門医・指導医等
瓦井 俊孝	講師	臨床神経学、特に神経遺伝学	神経内科専門医・指導医、 臨床遺伝専門医等
松井 尚子	特任助教	臨床神経学、特に神経免疫疾患	神経内科専門医・指導医等
藤田 浩司	特任助教	臨床神経学、特に神経感染症	神経内科専門医・指導医、 脳卒中専門医・指導医等
佐光 亘	助教	臨床神経学、特に神経変性疾患、 神経画像	神経内科専門医・指導医等
山本 伸昭	医員	臨床神経学、特に脳卒中	神経内科専門医・指導医、 脳卒中専門医・指導医等
宮本 亮介	助教	臨床神経学、特に神経遺伝学、 不随意運動	神経内科専門医・指導医等
大崎 裕亮	特任助教	臨床神経学、特に神経生理学	神経内科専門医、 臨床神経生理学会専門医等

②診療内容・診療実績

1) 神経生理部門

当科における電気生理学的検査および研究は日本のみならず国際的にも高い評価を受けており、末梢神経障害、ジストニアなどの運動異常症に対して全国でもトップレベルの医療を展開しています。ボツリヌス毒素による治療患者数は全国でも1-2を争います。

2) 神経変性部門

範疇が広く、且つ神経難病といわれる疾患群ですが、臨床実地における遺伝子診断、難病への治療法開発など当科が目指す「治る神経内科」の実践部門でもあります。現在当科を主幹として筋萎縮性側索硬化症に対する医師主導治験を行っています。

3) 認知症部門

高齢化の進んでいる徳島県においては認知症患者が増加しています。当科では診断困難例の診断を確定したり、積極的に治験を行ったりしています。

4) 脳卒中部門

当科は徳島大学病院脳卒中センターに参画しており、脳神経外科、放射線科、救急集中治療部と共同して脳卒中の早期治療（rt-PA、血管内治療など）を行っています。

5) 神経免疫・感染部門

多発性硬化症、重症筋無力症、ギラン・バレー症候群などの免疫性神経疾患に対し血漿交換療法などの免疫調節治療を積極的に導入し、良好な治療成績を残しており、基礎研究ともリンクした高度な医療を展開しています。

③研究内容

研究面では、教室のメインテーマである「神経変性」、「神経生理」を中心に神経変性、末梢神経生理、不随意運動、神経免疫において研究を進めています。学内・学外の共同研究を加え、国際的にも通用する研究をバランスよく積極的に展開できるよう図っています。2014年よりオールジャパンでジストニアの病態解明・治療法開発を目的とした Japan Dystonia Consortium を立ち上げました。全国の神経内科施設より不随意運動症例のビデオコンサルテーションを引き受け、さらに遺伝子検査を行っています。

④同門会、病診連携組織

同門会年次総会を毎年開催しています。本会の目的は学術講演会・懇親会・会誌発行などを通じた会員相互の親睦と研修です。今後は医局員の拡充とともに若い神経内科医の育成にもさらに力を入れていきます。2016年5月18日～23日に開催された第57回日本神経学会学術大会を主幹する機会があり、全国の大学・研究施設・基幹病院との交流を深めることができました。今後はこれまで以上に人的交流を進める予定です。

IV. メッセージ

徳島大学神経内科は常日頃より他の神経系診療科とのカンファレンスを行うなどの診療協力体制を築く努力を行いつつ、内科系診療科の役割も果たすことを科の目標としています。こう聞くと難しいようですが、決してそうではなく日常で遭遇する一般的な症状・疾患（頭痛、しびれ、認知症、脳卒中など）から神経難病に至る幅広い領域を相手に「治る神経内科」を目指すというのが私たちのポリシーです。高齢化による需要の増加の一方で、日本における神経内科医数は欧米に比して充足しているとはとても言いがたく、若い神経内科医志望者への期待、ニーズは日々膨らんでいます。われわれは教室発足当初から、洗練された育成システムを用意しています。ヒトに与えられた最大の宝物である「脳」の臨床、研究の実践を目指しませんか。興味のある方はいつでも神経内科医局のドアをノックしてください。

V. 連絡先

徳島大学病院神経内科医局

TEL : 088 - 633 - 7207 FAX : 088 - 633 - 7208

E-mail : 藤田 浩司 → kfujita@tokushima-u.ac.jp

松井 尚子 → naoko@tokushima-u.ac.jp

ホームページ URL : <http://neuro-tokushima.com>